

## 令和4年度寄附講座開講報告

令和4年4月6日(水)に名城大学における寄附講座が開講されました。

今年度も7月20日までの毎週水曜日の2限目(10:50~12:20)に全15回の講義を実施しました。単位は2単位で、合否は出席日数と課題の採点によって決定します。

今年度も昨年度と同様コロナ禍ということで、1講から5講まではWEB講義となりました。4、5講は石川会の方の講義でありWEBの動画録画での配信になりましたが、今年もご協力ありがとうございました。1講ガイダンスから始まり15講まで講師の方のご協力が無事に終わることができました。

毎回、講義の最後に小テスト(出席票)を実施するのですが、感想を記入してもらおう欄を設けています。学生の感想を見ますと、「土地家屋調査士の魅力が伝わった」「土地家屋調査士に興味を持った」「いつか資格の勉強してみたい」という意見もありました。講師の皆さんの実務経験をふまえた講義など、講義内容を工夫することによって学生の皆さんに少しでも土地家屋調査士という職業の魅力が伝わったと思います。

しかし、この講義で初めて土地家屋調査士を知った学生がほとんどで、まだまだ認知度が低いのが現状です。過去には寄附講座を受講し、インターンシップに申込みがあったケースもあり、そこから土地家屋調査士として活躍している例もあります。このような実績はあるものの、まだまだアウトプットが課題であると思います。

ただ、こうした活動は継続が必要だと思いますし、なかなか形が見えにくい活動ですが、少しでもわかりやすく、学生の立場になって講義をするなど、広報活動を諦めることなくコツコツと行うことが大事だと思います。この活動のことを知らない会員の方もいらっしゃるかもしれませんが、これを機に寄附講座の活動を知っていただきサポートしていただければ幸いです。

寄附講座は将来、土地家屋調査士を目指す学生が増えることを目的とすることや、少しでもこの職業を身近に感じてもらう目的で活動しています。広報活動として学生に対しての講義はパワーポイントや動画を活用し、なるべく分かりやすく講義して学生に寄り添った内容で各講師の方も考えていただいています。

来年度も名城大学様からは引き続き、講義を担当していただきたいと、ありがたいお言葉をいただいています。そのためには来年度以降の講師もまた募集させていただくことがあると思いますが、今後も会員の皆様のご理解とご協力をいただけますようよろしくお願い申し上げます。

(寄附講座運営委員会委員長 渡邊 義太)